

大学を拠点とした市民活動団体等活動支援

市民活動活性化へ向けた主な課題

1. 市民活動に対する意識の醸成と誰もが参加しやすい環境の整備
2. 市民活動団体の組織力の強化や信頼性の向上
3. 多様な主体を結びつける仕組みづくり

大学を活用した市民活動支援

大阪府立大学が保有する特有の資源（物的、人的、知的、ネットワーク資源等）を活用することにより、地域が抱えるさまざまな課題の解決に向けた市民活動の支援や、学生を巻き込んだ若い世代の市民活動への参画促進による地域活動の活性化、知的財産やインターネットツールを活用した地域資源情報の共有化等に取り組む。

主な業務内容

●予算額：4,188 千円

多様な主体による協働のまちづくり・市民活動への理解・参画の促進

- ・市内大学間の社会貢献部門との協働ネットワーク構築
- ・「寄附文化の醸成」や市民活動に関連するシンポジウムの開催
- ・NPO（市民活動団体）活動の周知・啓発（パネル展の開催）
- ・企業への訪問による市民活動への理解・協力等の促進
- ・企業のCSR活動などの実態やニーズ調査と分析

市民活動団体の活性化と活動環境の充実

- ・インターネットツールを活用した地域資源情報の収集・発信
- ・学生ボランティアと企業や市民活動団体等のマッチングコーディネート
- ・市民活動交流라운ジの提供・運営
- ・市民活動団体の交流イベントの開催
- ・大学特有の資源（教員等）を活用し、市民活動をテーマとする専門家による講習会の開催

期待される効果

- 市民活動への理解・参加の促進や寄附文化の醸成
- 支援環境の充実による市民活動の活性化
- 若者世代のまちづくりへの参画促進、社会貢献意識醸成
- 企業の市民活動に対する理解促進と協働の機運醸成



▲府大ボランティア・市民活動センター